



2022年10月21日

各 位

上場会社名 リオン株式会社
 代表者 代表取締役社長 岩橋清勝
 (コード番号 6823)
 問合せ先責任者 常務取締役経営企画本部長 加藤公規
 (TEL 042-359-7099)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年4月28日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,000	1,450	1,450	850	69.15
今回修正予想(B)	10,800	1,050	1,050	600	48.80
増減額(B-A)	△200	△400	△400	△250	
増減率(%)	△1.8	△27.6	△27.6	△29.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	10,215	1,203	1,235	843	68.60

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,800	3,450	3,500	2,250	183.05
今回修正予想(B)	23,200	2,700	2,750	1,750	142.29
増減額(B-A)	△600	△750	△750	△500	
増減率(%)	△2.5	△21.7	△21.4	△22.2	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	22,635	3,104	3,212	2,229	181.41

修正の理由

第2四半期累計期間の業績につきましては、微粒子計測器の販売が好調に推移しましたが、補聴器において新型コロナウイルス感染症の再拡大により7月以降の販売店への来店者数が伸び悩んだほか、環境機器において工事現場等で使用される騒音計や振動計の販売が減少したことなどにより、売上高は当初の予想を下回る見込みとなりました。利益面についても、売上高の減少に加えて新製品開発費用や販管費の増加が想定を超えたため、当初の予想を下回る見込みとなりました。

通期の業績予想につきましては、補聴器において下期以降の販売は徐々に回復していくと予想しているものの、環境機器及び微粒子計測器において、部材不足による調達価格の高騰や生産遅延が一部発生するものと想定されるため、売上高、利益ともに予想を下回る見込みとなりました。

なお、2022年7月25日開催の取締役会にて、ノルウェーの音響計測器の製造・開発会社であるNorsonic ASの株式を取得し子会社化することについて決議し、株式譲渡契約を締結しましたが、同日付で公表した「Norsonic ASの株式取得(子会社化)に関するお知らせ」に記載の通り、当期の連結業績に与える影響は軽微であるため、予想数値には織り込んでおりません。今後変更が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

配当予想につきましては、1株当たり中間配当23円、1株当たり期末配当22円(年間合計45円)としており、当初の予想から変更しておりません。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績はさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上